

# 市内経営動向調査

令和元年度4月～6月期（第1四半期）

- ① 調査の時期 令和元年7月                      ② 調査の期間 平成31年4月～令和元年6月
- ③ 調査対象企業 280社                              ④ 回収状況 144社（回答率51.4%）
- ⑤ 調査内容 建設業、製造業、卸・小売業、サービス業を営む企業に対して、佐世保の景況感、業界の景況感、前年同期比売上動向（H30年4月～6月）、前年同期比採算動向（H30年4月～6月）を調査

※DI=ディフュージョン・インデックスとは《「増加・好転の割合」－「減少・悪化の割合」》

## 【総括】

### ○全業種合算

全業種合算でのDI値は「市内の景況感▲26.4(前回比+7.4)」、「市内業界の景況感▲31.3(+4.0)」、「前年同期比の売上動向▲13.7(+15.3)」、「前年同期比の採算動向▲23.3(+9.6)」となった。前回までDI値は悪化傾向にあったが、今回は全ての項目で改善に転じ、持ち直しの動きとなった。改善要因として、コスト削減や営業努力、新商品の導入、新規取引先の確保、値上げといった各社の経営努力が窺える声が寄せられた。全国的にはインバウンド需要の堅調な動きや都市部の民間工事を中心とする建設業が底堅く推移する一方、深刻な人手不足による受注機会の損失や人件費・外注費の増大、根強い消費者の節約志向、原材料費の高止まりによる収益圧迫が広く景気を押し下げる要因となっており、中小企業の景況感には足元で鈍さが見られる。

### ○佐世保市内の景況感

DI値は、建設業▲26.7(前回比-4.5)、製造業▲16.7(+5.2)、卸・小売業▲32.4(+19.0)、サービス業▲28.1(+13.8)と製造業、卸・小売業、サービス業において改善したものの、建設業において悪化した。建設業は今回唯一4.5ポイント悪化したが、他の3業種は大きく改善に転じており、総合的に見ると前回の調査時から持ち直しの動きが見受けられる。

### ○市内業界の景況感

DI値は、建設業▲24.4(前回比-2.2)、製造業▲30.0(-8.1)、卸・小売業▲40.5(+16.3)、サービス業▲31.3(+10.7)と卸・小売業、サービス業において改善したものの、建設業、製造業において悪化した。市内の景況感同様、サービス業と卸・小売業が大きく改善しており、業界景況感の回復を牽引した結果となった。しかし、前回過去5年間で最も低い数値であった卸・小売業は今回例年並みまで持ち直したものの、他の業種と比較すると依然として低い数値である為、先行きへ慎重な見方が続く。

### ○前年同期比の売上動向









































DI値は、建設業▲2.2(前回比+24.5)、製造業▲13.3(-0.8)、卸・小売業▲23.7(+16.8)、サービス業▲18.2(+17.3)と建設業、卸・小売業、サービス業において改善したものの、製造業において悪化した。今回の調査では全体的に改善傾向にある中、売上動向の改善が顕著に見られた。特に建設業は▲2.2(+24.5)と大きく改善した。しかし、景況感は足踏み状況が続いているため、今後の動向に留意が必要である。

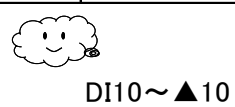
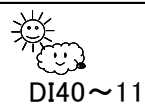
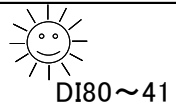
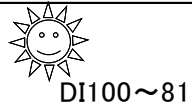
### ○前年同期比の採算動向

DI値は、建設業▲8.9(前回比+13.8)、製造業▲30.0(+7.5)、卸・小売業▲34.2(+1.9)、サービス業▲24.2(+14.5)と全業種で改善したものの、建設業、卸・小売業、サービス業では改善幅が売上動向と比べ小さい。特に卸・小売業は前回から1.9ポイントの微増であり売上動向の改善幅(+16.8)とは大きな差がある。要因としては原材料費、仕入れ価格の上昇、人手不足等の声が業種を問わず寄せられており、企業の利益確保を課題とする姿勢が窺える。

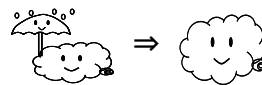
①佐世保の景況感について				②市内業界の景況感				③昨年同期比の売上の動向は？				④昨年同期比の採算動向は？			
全業種 DI値 ▲ 26.4				全業種 DI値 ▲ 31.3				全業種 DI値 ▲ 13.7				全業種 DI値 ▲ 23.3			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	3	2.05%	2.1	1.好転	1	0.68%	0.7
2.良い	6	4.17%	4.2	2.良い	6	4.17%	4.2	2.やや増加	27	18.49%	18.5	2.やや好転	17	11.64%	11.6
3.普通	94	65.28%	65.3	3.普通	87	60.42%	60.4	3.変わらない	66	45.21%	45.2	3.変わらない	76	52.05%	52.1
4.悪い	41	28.47%	28.5	4.悪い	47	32.64%	32.6	4.やや減少	39	26.71%	26.7	4.やや悪化	46	31.51%	31.5
5.大変悪い	3	2.08%	2.1	5.大変悪い	4	2.78%	2.8	5.減少	11	7.53%	7.5	5.悪化	6	4.11%	4.1
建設業 DI値 ▲ 26.7				建設業 DI値 ▲ 24.4				建設業 DI値 ▲ 2.2				建設業 DI値 ▲ 8.9			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	1	2.22%	2.2	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	3	6.67%	6.7	2.良い	3	6.67%	6.7	2.やや増加	9	20.00%	20.0	2.やや好転	6	13.33%	13.3
3.普通	27	60.00%	60.0	3.普通	28	62.22%	62.2	3.変わらない	24	53.33%	53.3	3.変わらない	29	64.44%	64.4
4.悪い	14	31.11%	31.1	4.悪い	13	28.89%	28.9	4.やや減少	6	13.33%	13.3	4.やや悪化	9	20.00%	20.0
5.大変悪い	1	2.22%	2.2	5.大変悪い	1	2.22%	2.2	5.減少	5	11.11%	11.1	5.悪化	1	2.22%	2.2
製造業 DI値 ▲ 16.7				製造業 DI値 ▲ 30.0				製造業 DI値 ▲ 13.3				製造業 DI値 ▲ 30.0			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	2	6.67%	6.7	1.好転	1	3.33%	3.3
2.良い	2	6.67%	6.7	2.良い	2	6.67%	6.7	2.やや増加	5	16.67%	16.7	2.やや好転	3	10.00%	10.0
3.普通	21	70.00%	70.0	3.普通	17	56.67%	56.7	3.変わらない	12	40.00%	40.0	3.変わらない	13	43.33%	43.3
4.悪い	6	20.00%	20.0	4.悪い	9	30.00%	30.0	4.やや減少	9	30.00%	30.0	4.やや悪化	11	36.67%	36.7
5.大変悪い	1	3.33%	3.3	5.大変悪い	2	6.67%	6.7	5.減少	2	6.67%	6.7	5.悪化	2	6.67%	6.7
卸・小売業 DI値 ▲ 32.4				卸・小売業 DI値 ▲ 40.5				卸・小売業 DI値 ▲ 23.7				卸・小売業 DI値 ▲ 34.2			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	0	0.00%	0.0	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	0	0.00%	0.0	2.良い	0	0.00%	0.0	2.やや増加	6	15.79%	15.8	2.やや好転	2	5.26%	5.3
3.普通	25	67.57%	67.6	3.普通	22	59.46%	59.5	3.変わらない	17	44.74%	44.7	3.変わらない	21	55.26%	55.3
4.悪い	11	29.73%	29.7	4.悪い	14	37.84%	37.8	4.やや減少	14	36.84%	36.8	4.やや悪化	14	36.84%	36.8
5.大変悪い	1	2.70%	2.7	5.大変悪い	1	2.70%	2.7	5.減少	1	2.63%	2.6	5.悪化	1	2.63%	2.6
サービス業 DI値 ▲ 28.1				サービス業 DI値 ▲ 31.3				サービス業 DI値 ▲ 18.2				サービス業 DI値 ▲ 24.2			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	0	0.00%	0.0	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	1	3.13%	3.1	2.良い	1	3.13%	3.1	2.やや増加	7	21.21%	21.2	2.やや好転	6	18.18%	18.2
3.普通	21	65.63%	65.6	3.普通	20	62.50%	62.5	3.変わらない	13	39.39%	39.4	3.変わらない	13	39.39%	39.4
4.悪い	10	31.25%	31.3	4.悪い	11	34.38%	34.4	4.やや減少	10	30.30%	30.3	4.やや悪化	12	36.36%	36.4
5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.減少	3	9.09%	9.1	5.悪化	2	6.06%	6.1

市内経営動向調査 令和元年度第1四半期 (平成31年4月～令和元年6月) DI景況感※DI値は平成30年度第4四半期(平成31年1月～3月)と比較

	佐世保の景況感	業界の景況感	前年同期比売上げ動向	前年同期比採算動向
全業種	DI値 ▲ 33.8 ⇒ ▲ 26.4 ↗  ⇒  ↑7.4	DI値 ▲ 35.2 ⇒ ▲ 31.3 ↗  ⇒  ↑4.0	DI値 ▲ 29.0 ⇒ ▲ 13.7 ↘  ⇒  ↑15.3	DI値 ▲ 32.9 ⇒ ▲ 23.3 ↘  ⇒  ↑9.6
建設業	DI値 ▲ 22.2 ⇒ ▲ 26.7 ↗  ⇒  ↓-4.5	DI値 ▲ 22.2 ⇒ ▲ 24.4 ↗  ⇒  ↓-2.2	DI値 ▲ 26.7 ⇒ ▲ 2.2 ↘  ⇒  ↑24.5	DI値 ▲ 22.7 ⇒ ▲ 8.9 ↗  ⇒  ↑13.8
製造業	DI値 ▲ 21.9 ⇒ ▲ 16.7 ↗  ⇒  ↑5.2	DI値 ▲ 21.9 ⇒ ▲ 30.0 ↗  ⇒  ↓-8.1	DI値 ▲ 12.5 ⇒ ▲ 13.3 ↗  ⇒  ↓-0.8	DI値 ▲ 37.5 ⇒ ▲ 30.0 ↗  ⇒  ↑7.5
卸・小売業	DI値 ▲ 51.4 ⇒ ▲ 32.4 ↗  ⇒  ↑19.0	DI値 ▲ 56.8 ⇒ ▲ 40.5 ↘  ⇒  ↑16.3	DI値 ▲ 40.5 ⇒ ▲ 23.7 ↘  ⇒  ↑16.8	DI値 ▲ 36.1 ⇒ ▲ 34.2 ↘  ⇒  ↑1.9
サービス業	DI値 ▲ 41.9 ⇒ ▲ 28.1 ↗  ⇒  ↑13.8	DI値 ▲ 41.9 ⇒ ▲ 31.3 ↘  ⇒  ↑10.7	DI値 ▲ 35.5 ⇒ ▲ 18.2 ↘  ⇒  ↑17.3	DI値 ▲ 38.7 ⇒ ▲ 24.2 ↘  ⇒  ↑14.5



DI値 ▲30.0 ⇒ ▲10.0



↗(平成21年度第1四半期～令和元年度第1四半期の傾向)

↑ (平成30年度第4四半期と令和元年度第1四半期との比較)

## 【概 況】

(全業種) ※ ( ) 内は前回調査値

### ① 市内の景況感について

「大変良い」0.0% (0.0%)、「良い」4.2% (2.8%)、「普通」65.3% (60.7%)、「悪い」28.5% (33.8%)、「大変悪い」2.1% (2.8%) となり、DIは▲26.4 (▲33.8) と7.4ポイント改善した。  
業種別DIでは、製造業、卸・小売業、サービス業がプラスに作用し、建設業のみマイナスに作用した。

### ② 市内における業界の景気動向について

「大変良い」0.0% (0.0%)、「良い」4.2% (2.1%)、「普通」60.4% (60.7%)、「悪い」32.6% (34.5%)、「大変悪い」2.8% (2.8%) となり、DIは▲31.3 (▲35.2) と3.9ポイント改善した。  
業種別DIでは、卸・小売業、サービス業がプラスに作用し、建設業、製造業がマイナスに作用した。

### ③ 前年同期比(平成30年4月~6月)の売上動向について

「増加」2.1% (0.7%)、「やや増加」18.5% (13.1%)、「変わらない」45.2% (43.4%)、「やや減少」26.7% (28.3%)、「減少」7.5% (14.5%) となり、DIは▲13.7 (▲29.0) と15.3ポイント改善した。  
業種別DIでは、建設業、卸・小売業、サービス業がプラスに作用し、製造業のみマイナスに作用した。

### ④ 前年同期比(平成30年4月~6月)の採算動向について

「好転」0.7% (0.0%)、「やや好転」11.6% (7.7%)、「変わらない」52.1% (51.7%)、「やや悪化」31.5% (29.4%)、「悪化」4.1% (11.2%) となり、DIは▲23.3 (▲32.9) と9.6ポイント改善した。  
全ての業種がプラスに作用した。

《業種別概況》 ※ ( ) 内は前回調査値

(建設業) 回答：78社中45社、回答率57.7%

○市内の景況感については、「大変良い」0.0% (0.0%)、「良い」6.7% (2.2%)、「普通」60.0% (73.3%)、「悪い」31.1% (24.4%)、「大変悪い」2.2% (0.0%) となり、DIは▲26.7 (▲22.2) と4.5ポイント悪化した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0.0% (0.0%)、「良い」6.7% (2.2%)、「普通」62.2% (73.3%)、「悪い」28.9% (24.4%)、「大変悪い」2.2% (0.0%) となり、DIは▲24.4 (▲22.2) と2.2ポイント悪化した。

○前年同期比の売上げは、「増加」2.2% (0.0%)、「やや増加」20.0% (11.1%)、「変わらない」53.3% (51.1%)、「やや減少」13.3% (22.2%)、「減少」11.1% (15.6%) となり、DIは▲2.2 (▲26.7) と24.5ポイント改善した。

○前年同期比の採算動向は「好転」0.0% (0.0%)、「やや好転」13.3% (9.1%)、「変わらない」64.4% (59.1%)、「やや悪化」20.0% (22.7%)、「悪化」2.2% (9.1%) DIは▲8.9 (▲22.7) と13.8ポイント改善した。

#### 《主な自由意見》

○昨年同期の売り上げ動向

好転要因では、受注件数の増加等の回答があった。

悪化要因では、公共工事の減少や人手不足による受注機会の損失などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好調要因では、受注件数が増加したためなどの回答があった

悪化要因では、受注の減少や材料費値上げ、人手不足の影響などの回答があった。

○経営上の問題・課題

技術者などの高齢化や、人員不足や求人難、経費削減といった声が多く寄せられた。しょうさい

**(製造業) 回答：64社中30社、回答率46.9%**

○市内の景況感については、「大変良い」0.0% (0.0%)、「良い」6.7% (9.4%) 「普通」70.0% (59.4%)、「悪い」20.0% (28.1%)、「大変悪い」3.3% (3.1%) となり、DIは▲16.7 (▲21.9) と5.2ポイント改善した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0.0% (0.0%)、「良い」6.7% (6.3%)、「普通」56.7% (65.6%)、「悪い」30.0% (25.0%)、「大変悪い」6.7% (3.1%) となり、DIは▲30.0 (▲21.9) と8.1ポイント悪化した。

○前年同期比の売上げは、「増加」6.7% (3.1%)、「やや増加」16.7% (18.8%)、「変わらない」40.0% (43.8%)、「やや減少」30.0% (21.9%)、「減少」6.7% (12.5%) となり、DIは▲13.3 (▲12.5) と0.8ポイント悪化した。

○前年同期比の採算動向は「好転」3.3% (0.0%)、「やや好転」10.0% (9.4%)、「変わらない」43.3% (43.8%)、「やや悪化」36.7% (37.5%)、「悪化」6.7% (9.4%) となり、DIは▲30.0 (▲37.5) と7.5ポイント改善した。

**《主な自由意見》**

○昨年同期の売上動向

好転要因では、新規取引先の確保、新商品投入、大型案件の受注、営業努力などの回答があった。  
悪化要因では、競争激化や受注減、材料不足などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、コスト削減や受注増、新商品の投入との回答があった。  
悪化要因では、受注減少や人件費、原材料費などの経費の増加といった回答があった。

○経営上の問題・課題

事業承継や原材料費値上がり、人材不足、求人難、賃金アップによる人件費増加や価格転嫁の難しさを懸念する声が寄せられた。

**(卸・小売業) 回答：73社中37社、回答率50.7%**

○市内の景況感については、「大変良い」0.0% (0.0%)、「良い」0.0% (0.0%)、「普通」67.6% (48.6%)、「悪い」29.7% (43.2%)、「大変悪い」2.7% (8.1%) となり、DIは▲32.4 (▲51.4) と19.0ポイント改善した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0.0% (0.0%)、「良い」0.0% (0.0%)、「普通」59.5% (43.2%)、「悪い」37.8% (48.6%)、「大変悪い」2.7% (8.1%) となり、DIは▲40.5 (▲56.8) と16.3ポイント改善した。

○前年同期比の売上げは、「増加」0.0% (0.0%)、「やや増加」15.8% (10.8%)、「変わらない」44.7% (37.8%)、「やや減少」36.8% (40.5%)、「減少」2.6% (10.8%) となり、DIは▲23.7 (▲40.5) と16.8ポイント改善した。

○前年同期比の採算動向は「好転」0.0% (0.0%)、「やや好転」5.3% (5.6%)、「変わらない」55.3% (52.8%)、「やや悪化」36.8% (33.3%)、「悪化」2.6% (8.3%) となり、DIは▲34.2 (▲36.1) と1.9ポイント改善した。

**《主な自由意見》**

○昨年同期の売上

好転要因では、イベント開催、接客力向上、インターネット部門の好調といった回答があった。  
悪化要因では、買い控え、購入単価減少、来店数の減少、競争激化などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、経費削減等の回答があった。  
悪化要因では、売上高の減少や仕入れ価格・人件費の上昇などの回答があった。

○経営上の問題・課題

求人難、人材不足、技術者不足、大型現場不足や10月の消費税増税を懸念する声が寄せられた。

(サービス業) 回答：65社中32社、回答率49.2%

○市内の景況感については、「大変良い」0.0% (0.0%)、「良い」3.1% (0.0%)、「普通」65.6% (58.1%)、「悪い」31.3% (41.9%)、「大変悪い」0.0% (0.0%) となり、DIは▲28.1 (▲41.9) と13.8ポイント改善した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0.0% (0.0%)、「良い」3.1% (0.0%)、「普通」62.5% (58.1%)、「悪い」34.4% (41.9%)、「大変悪い」0.0% (0.0%) となり、DIは▲31.3 (▲41.9) と10.6ポイント改善した。

○前年同期比の売上げは、「増加」0.0% (0.0%)、「やや増加」21.2% (12.9%)、「変わらない」39.4% (38.7%)、「やや減少」30.3% (29.0%)、「減少」9.1% (19.4%) となり、DIは▲18.2 (▲35.5) と17.3ポイント改善した。

○前年同期比の採算動向は「好転」0.0% (0.0%)、「やや好転」18.2% (6.5%)、「変わらない」39.4% (48.4%)、「やや悪化」36.4% (25.8%)、「悪化」6.1% (19.4%) となり、DIは▲24.2 (▲38.7) と14.5ポイント改善した。

《主な自由意見》

○昨年同期の売上

好転要因では、値上げや大型連休増加、雨天減少などの回答があった。

悪化要因では、ターゲット層の減少や観光客の減少、人手不足との回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、社員増員や取扱作品の好評等の回答があった。

悪化要因では、特に運送業からは燃料費高騰との回答が多く、次いで人手不足や受注減との声が寄せられた。

○経営上の問題・課題

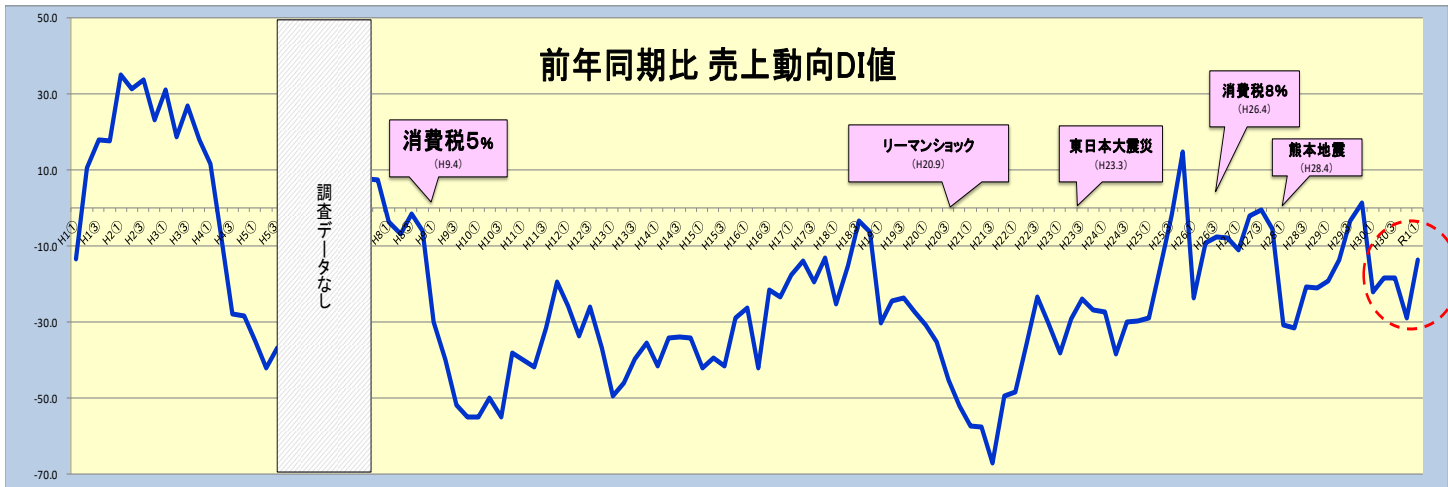
求人難、燃料費・人件費の上昇等を問題とする声が多く、消費税や軽減税率の制度変更の負担を懸念する声も寄せられた。

以上

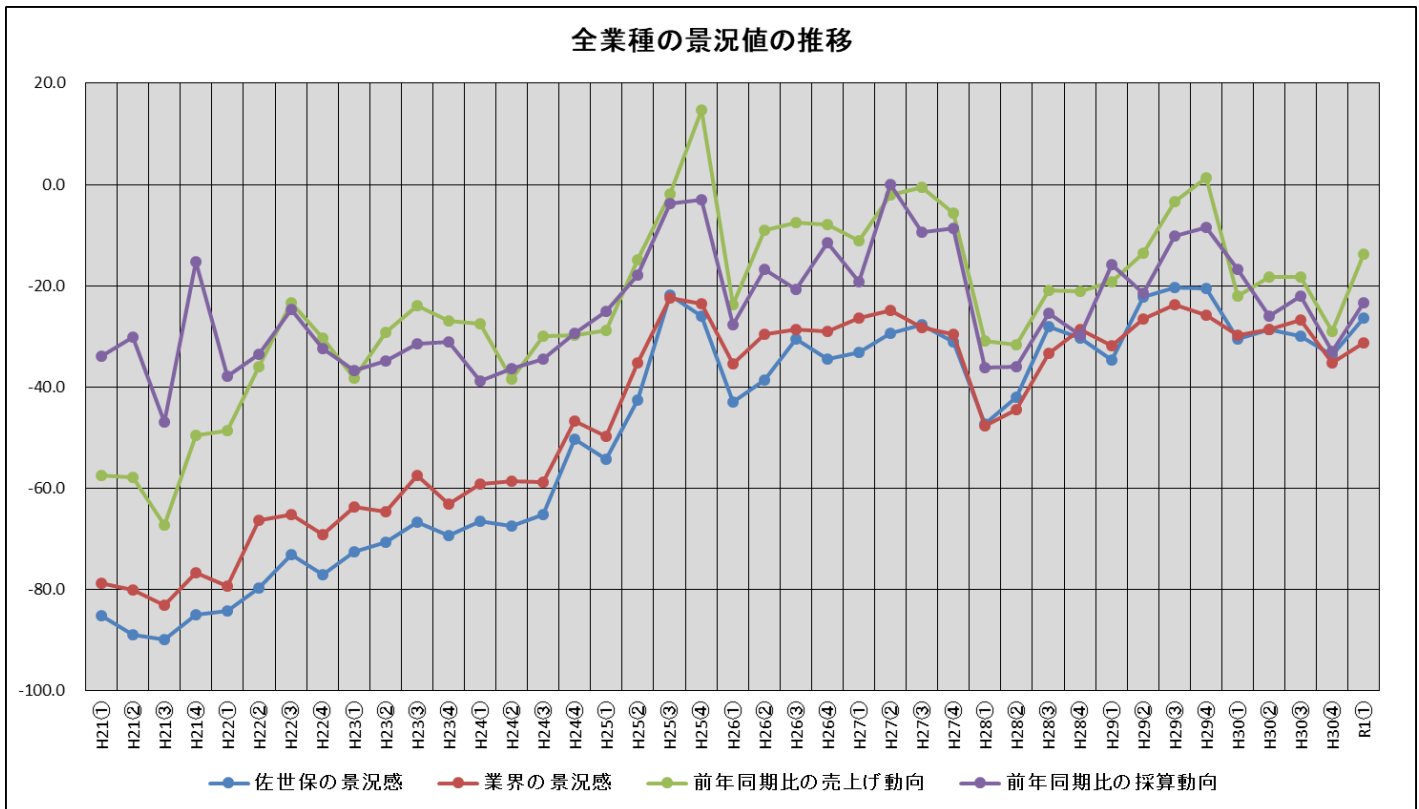


令和元年度第1四半期 経営動向調査表

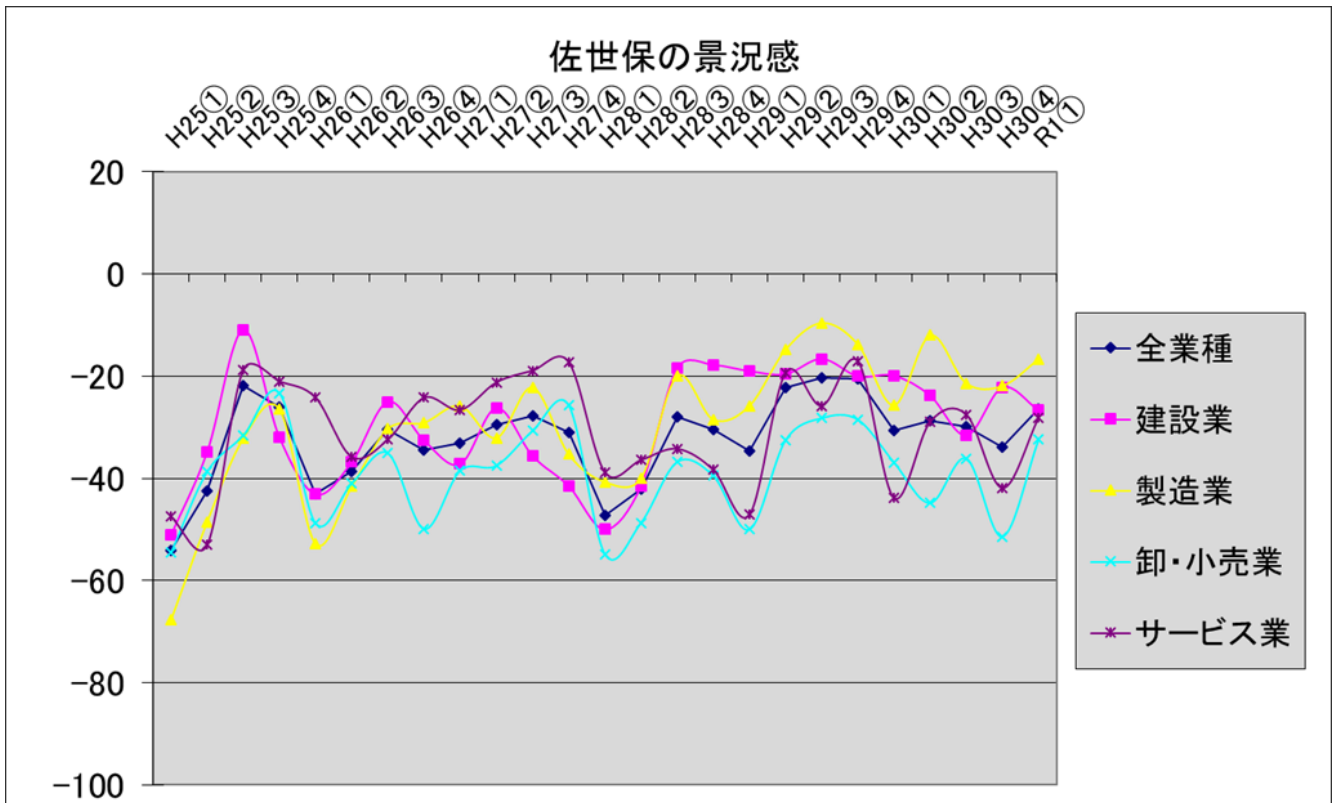
図表1-1 【前年同期比売上動向DI値の推移（平成元年～）】



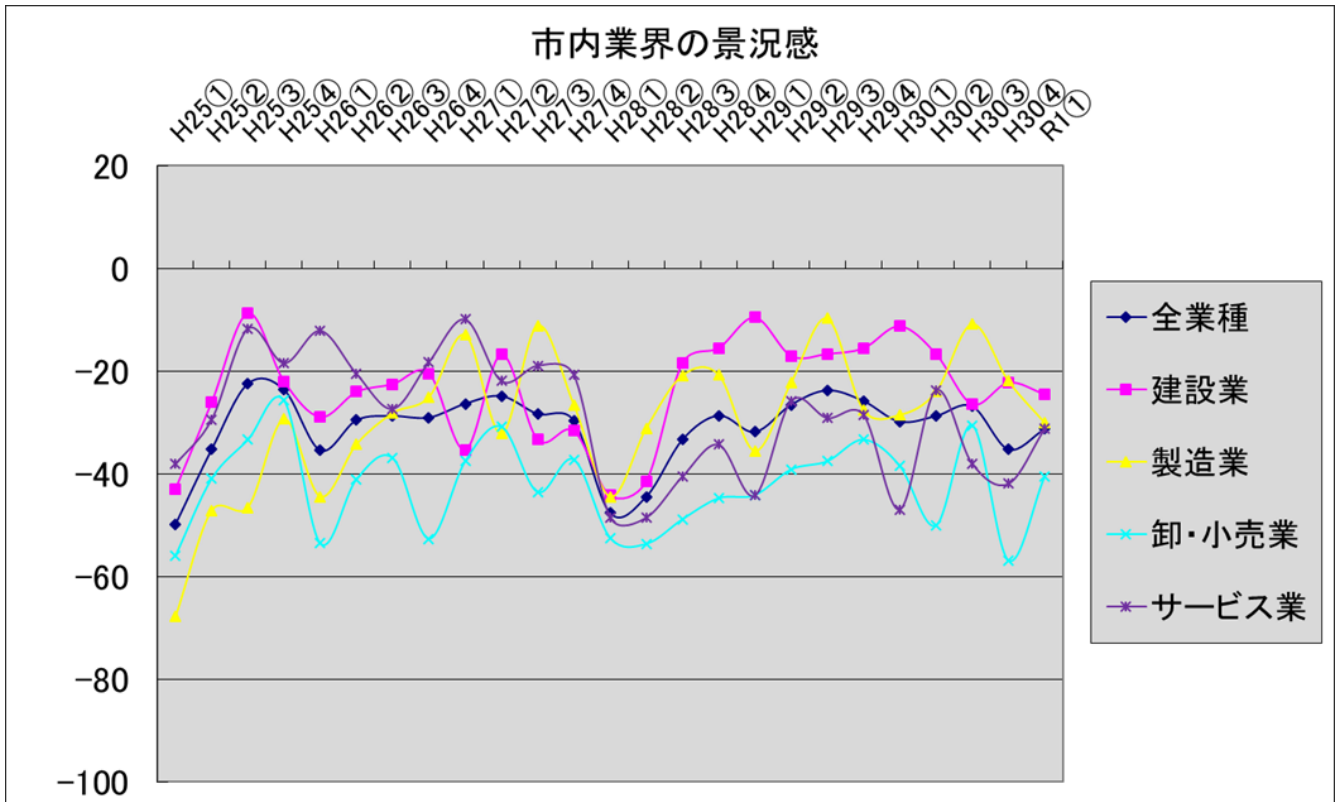
図表1-2 【全業種DI値の推移（平成21年～）】



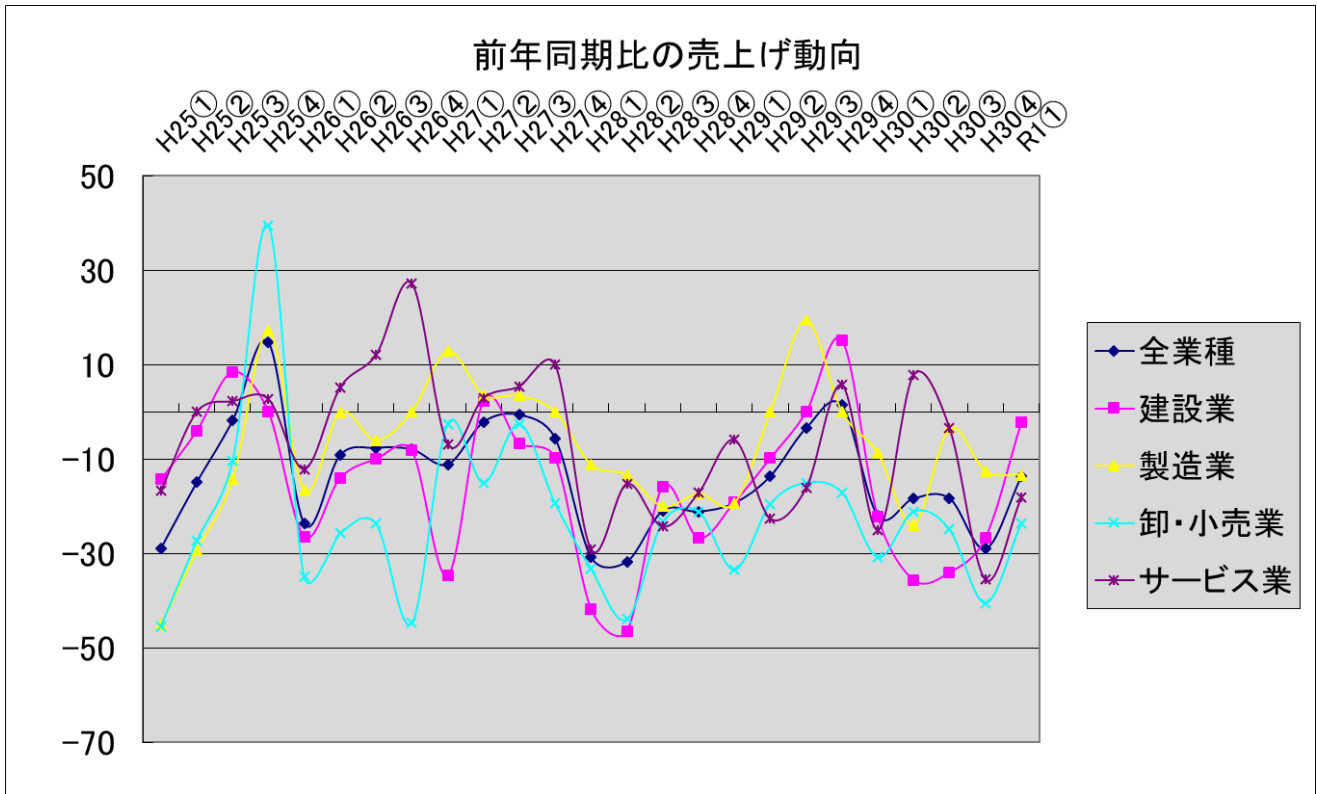
図表 1 - 3 【佐世保の景況感の推移（平成 25 年～）】



図表 1 - 4 【市内業界の景況感の推移（平成 25 年～）】



図表 1 - 5 【昨年同期比の売上動向の推移（平成 25 年～）】



図表 1 - 6 【昨年同期比の採算動向の推移（平成 25 年～）】

